



M2 Live

効率化とスキルアップを叶えたクラウド活用配信



2023年5月、Beach Soccer トップカテゴリー強化リーグ熊本菊陽ステージにて、クラウドスイッチャー M2 Live を活用した中継配信が行われました。配信を行ったのは、自社での配信コンテンツ制作に積極的に取り組んでいる、テレビ熊本様です。システム検討を担当した技術部 担当部長の南 大様に、M2 Live を利用した目的や所感、今後どのようにクラウド導入を進めていきたいかを伺いました。

ご担当者の紹介



株式会社テレビ熊本
技術部 担当部長
南 大 様

クラウド導入はやってみなければ分からない、やってみれば分かることがある

中継配信で M2 Live を採用した理由

予算の関係ではじめから中継車を出すことが難しい、かつ有線ネットワーク環境が整っていないことが分かっている現場だったため、この機にクラウドの活用を決めました。

また、今までも中継配信というのは多くあったのですが、リモート回線で映像を伝送し、本局でベースバンドに戻して、再度スイッチングしたのち、もう一度ストリーミング形式にしてから転送するというのは、エンコードとデコードを繰り返すことによる遅延も増えますし、手間もかかるので何とかならないかなと一年ほど前から考えていました。そんな時に M2 Live を知り、これは思っていたようなサービスなのではないか、と感じてソニーへ相談しました。

M2 Live は、入力数は限られてはいるものの、その分ほかのクラウド制作プラットフォームより料金体系も少し安価ですし、クラウドを活用したサービスを使い始めたいと思っている技術者にとってはシンプルでとっつきやすい構成だったと思います。



テレビ熊本局社内 M2 Live 操作の様子

実際に活用して感じた効果

今回、携帯回線と組み合わせてワイヤレス運用も行ったため、準備時間が従来と比較して1/3～1/2ほどに削減でき、省力化という観点で効果を感じました。



ビーチサッカー試合会場での撮影の様子

部署の工数管理も担当する私としては、少しでもスタッフの作業負担を減らすことができるという点もメリットに感じます。どうしても現場に行くスタッフは必要ですが、現場に行かなくてもいいスタッフが増える、働く場所を選ばないということは、クラウドを活用した制作での一番魅力的な点です。加えて、腕のいい技術者が2時間空いていて、そこに仕事をしてもらうことができるなど、働き方改革の面でも今後このような仕組みを浸透させたいと思っています。

将来を見据えた今後への期待

M2 Live を実際に使ってみると、細部の仕様に関しては改善の余地がありましたが、ハードウェアの場合、一度買ってしまえばそれ以上のアップデートはあまり望めませんが、ソフトウェアがクラウドにあるということと、ソニーの技術力であれば、今後どんどん使いやすくなっていくだろうと期待が持てました。

構成がシンプルであるという点が特に良いポイントですが、シンプルであるが故に“使いどころ”という点では考えるところがありました。スマートフォンアプリ XDCAM pocket には PGM（プログラム）のリターン映像を確認できる機能がありますが、カメラの VF 上で確認することができない、といった、今までの中継車でリッチコンテンツを作るのと同じ感覚とは違う運用について、カメラマンも含めて考え方のアップデートが必要だと思いました。

一方で他のスタッフは、「ものすごく未来感があるね」と言っていました。リモートプロダクションという言葉が出てきても、なかなか実際の制作現場にそういったものが入ってくるのがなかったのですが、クラウドの中で全て作ってしまうという仕組みを体感し、「一気にこういう時代がきたね、乗り遅れないようにしないとイケないね」と話していました。ソニーへの注文としては、カメラのリモート制御もクラウド経由でできるようになるといいと思います。

映像制作現場でも IT 化が当たり前になりつつあるため、技術者が IT の知識をつけていないと、将来的にそれに太刀打ちできなくなるという危機感がすごくあります。クラウドサービスは当然 IT なので、技術スタッフが少しずつ IT の知識を身につけていけるように、IP/IT リテラシーの底上げという裏の狙いも込めて、今回 M2 Live を採用しました。チャレンジする姿勢が大切だと感じることができました。

テレビ熊本では今後も新たなクラウドサービスや技術に、積極的にチャレンジしていきたいです。引き続きわれわれのチャレンジへのソニーのサポートに期待しています。



Creators' Cloud の商品情報やお客さま事例をご覧ください。 sony.jp/professional/creators-cloud/

ソニーマーケティング株式会社 / 〒108-0075 東京都港区港南 1-7-1

購入に関するお問い合わせは

業務用購入相談窓口 [フリーダイヤル ☎ 0120-580-730](tel:0120-580-730)

●受付時間 9:00～18:00（土・日・祝日、および弊社休業日は除く）

2023年10月現在